

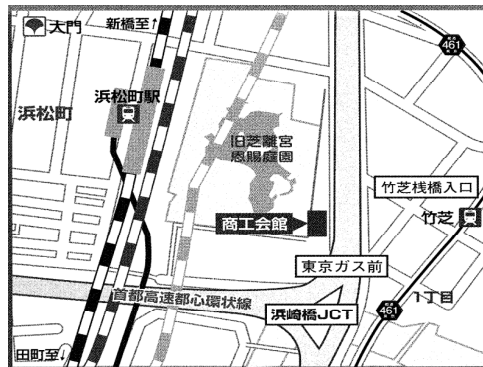
12月10日 (木)

18時00分～21時00分(17時40分開場)

会場: 港区立商工会館2階研修室

東京都港区海岸 1-4-28 / 電話: 03-3433-0862

- 最寄り駅: J R 浜松町駅北口から竹芝桟橋方面へ徒歩 7 分
- 都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅 B2 出口より徒歩 10 分



◇ビデオ学習会《731部隊の国家犯罪を裁く》

元731部隊員の証言 / 第30回

資料代500円

越定男さん(第三部運輸班員)の証言(第2回)

解説 近藤昭二さん(ジャーナリスト)

越定男さん(1918年3月14日生まれ)は1939年に応召(終戦時27歳)。

1941年に731部隊に入隊して、終戦までの4年間、第三部運輸班員だった。

証言ビデオで越さんは、自分が目撃し体験した「丸太」の運搬、野外での人体実験、毒ガス実験、隊長車で間近に見た石井四郎の人柄等を生々しく語っています。

解説では、近藤昭二さんが1992年4月25日に越定男さんを取材した時の証言に基づいて説明します(本年9月25日の学習会に続く2回目です)。

《今も政府が認めない731部隊とは?》

日本軍中枢は国際法を無視して細菌戦を構想した。1936 年、細菌戦部隊の関東軍防疫部を設け、ハルビン郊外の平房に大規模な施設を建設。1940 年、同施設を本部とする「関東軍防疫給水部」が設けられ、翌年から 731 部隊と呼ばれた。

731 部隊では、細菌兵器の開発・製造のため、3 千人を超える中国人・韓国人・ロシア人などが敗戦までに虐殺された。他方、細菌作戦は、1940 年から 1942 年まで中国の浙江省や湖南省などで実施されペストやコレラを大流行させ少なくとも 3 万人を虐殺。1944 年以降、731 部隊は米軍へも細菌戦の発動を準備していた。

【講師紹介】

著書:『生物武器作戦』(社会科学文献出版社 2019)、『731 部隊・細菌戦資料集成』(柏書房 2003)、『死の工場—隠蔽された 731 部隊』(シエルダン・ハリス著、近藤昭二訳 柏書房 1999) ほか。731 部隊に関する論文多数。

脚本: チェルノブイリ原子炉爆発事故前年に上映された日本の原発事故を取り上げた映画「生きてるうちが花なのよ死んだらそれまでよ党宣言」(ATG 配給、主演・倍賞美津子)の脚本執筆など。



731部隊問題関連裁判の裁判日程

傍聴をお願いします!

- ・衛生学校記事情報公開裁判【東京地裁民事第51部】/419号法廷/ 10月15日(木)午後2時
- ・ビザ発給拒否裁判【東京高裁第22民事部】:第1回期日/424号法廷/ 12月 9日(水)午前11時
- ・化学学校記事情報公開裁判【東京地裁民事第3部】/419号法廷(予定)/ 12月16日(水)午前11時

主催: NPO法人 731部隊・細菌戦資料センター 2020.09.25

(共同代表 近藤昭二[ジャーナリスト]・王選[細菌戦犠牲者遺族、上海交通大学客員教授])

◆お問い合わせ: 一瀬法律事務所: 東京都港区西新橋 1-21-5/ Email: info@ichinoselaw.com 担当元永 (もとなが)

Tel: 03-3501-5558 Fax: 03-3501-5565 /◆ Website: <http://www.anti731saikinsen.net/>